



# SGN News



第39号 2022年3月  
滋賀グリーン活動ネットワーク  
ニュース

～滋賀から「グリーン経済」をつくる～

## グリーン経済フォーラム2021 滋賀からエネルギー転換と脱炭素を考える ～「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会」を目指して～

### オンライン【Zoom利用】開催報告

- ◆開催日:2021年11月17日(水)
- ◆参加者:約100名

#### プログラム

- 開会挨拶 秋山 道雄 (SGN会長)
- 報告『CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進条例・計画 (素案)』  
中嶋 洋一氏 (滋賀県 総合企画部 CO<sub>2</sub>ネットゼロ推進課)
- 基調講演『加速するエネルギー転換と脱炭素に向かう世界と日本』  
大林 ミカ氏 (公益財団法人 自然エネルギー財団 事業局長)
- 基調報告『中小企業の省エネ診断状況報告と脱炭素化経営推進手法について』  
正木 準氏 (株式会社エスコアドバンス 代表取締役)
- 質疑応答・ディスカッション  
コーディネーター: 高橋 卓也 (SGN副会長・滋賀県立大学 環境科学部 教授)



大林 ミカ氏



正木 準氏

2020年1月滋賀県は2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることを旨とし「しがCO<sub>2</sub>ネットゼロ」ムーブメント」キックオフ宣言をしました。そこで中小企業・小規模企業者でもできる「CO<sub>2</sub>ネットゼロ」「脱炭素化」に向け、自分たちのなすべきこと、今やるべきことについて考えました。

#### 報告『CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり推進条例・計画 (素案)』 中嶋 洋一氏

滋賀県の直近の動向と「滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例(素案)」のポイントや概要について説明いただきました。2030年にむけた中期ビジョンや再生可能エネルギー導入目標などの具体的数値を示しての説明がなされ、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現にむけて、あらゆる連携が必要であると強調されました。

#### 基調講演『加速するエネルギー転換と脱炭素に向かう世界と日本』 大林 ミカ氏

直前に参加されていたCOP26の報告、そして自然エネルギーの現状や展望等をお話いただきました。太陽光や風力発電が世界中で拡大し、世界のGDPの3/4近くを占める国々では、最も安価な電源になっているそう。また大幅なCO<sub>2</sub>の超過排出を回避するためには2030年に電力の5～6割を自然エネルギーにすることが提案されており、達成に向けた世界各国の具体的な目標についてもご説明いただきました。日本は他国と比較し化石燃料依存が目立ちます。2021年第一四半期には自然エネルギー発電がガスに次いで第2位になるなど少しずつ拡大しているが、速度は遅いとのこと。カーボンプライシングなどの根本的な対策が必要であると強調されていました。

#### 基調報告『中小企業の省エネ診断状況報告と脱炭素化経営推進手法について』 正木 準氏

2012年以降実施の県内約370事業所の診断結果をもとにお話いただきました。太陽光発電に関しては、殆どの事業者で費用対効果の側面で検討すべき結果となったそう。また診断提案の約94%が実施済か実施検討されており、県内事業者の脱炭素へ意識が高まっていること、CO<sub>2</sub>ネットゼロ実現可能企業が多く存在することも教えていただきました。中小企業が独自で診断・脱炭素経営を進める方法として、自己診断ツールについてもご紹介いただきました。脱炭素経営は「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、「地球よし」を加えた「全方よし」であるとの言葉が印象に残りました。

講演後のパネルディスカッションでは、高橋卓也SGN副会長のコーディネートで、脱炭素に取り組むことの重要性や企業・消費者・自治体、そして国も同じ方向に向かっていくべきであるといったお話を伺いました。

### INDEX



- グリーン経済フォーラム2021 ..... 1
- 研究会連携企画セミナー  
シリーズ「グリーンリカバリー」 ..... 2
- 県受託事業「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度  
(GPプラン滋賀)」へのご登録はお済みですか? ..... 3
- 活動レポート1 ..... 4
- 活動レポート2 ..... 5
- SGN会員でつなぐリレートーク  
リコージャパン株式会社 滋賀支社 ..... 6
- 新規会員からひとこと ..... 6
- 潮流「プラ新法」滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例 ..... 7
- 会員発エコ商品情報 ..... 8
- 随時募集中 講師派遣 オンラインも対応します! ..... 8
- CO<sub>2</sub>ネットゼロ、何から始めたら...という事業者の方はご相談ください! ..... 8

## 研究会連携企画セミナー

## シリーズ「グリーンリカバリー」

2020年10月～2021年3月 全5回

●企画参加研究会：  
 食のグリーン購入研究会  
 ゼロエミッション研究会  
 生物多様性と環境・CSR研究会  
 エコ交通研究会

コロナ禍からの経済復興の際に、地球環境保護の観点を取り入れるグリーンリカバリーに焦点を当て、その世界の動きや企業の取組事例を学ぶことで、グリーン購入をはじめとする環境負荷低減活動の実践促進を行うため。SGNの4研究会が協働で開催しました。その概要を報告します。（※所属等は開催当時のもの）

※Vol.1：Zoom&ライブビューイング併催 Vol.2～5：Zoom利用のオンライン開催

## vol.1

## 「グリーン経済フォーラム2020」 ～ポスト・コロナの世界を再生する「グリーンリカバリー」～

●2020年10月29日(木) 開催 ●参加者：116名以上

第1回は「グリーン経済フォーラム2020」。「グリーンリカバリー」について学ぼうと東京大学 未来ビジョン研究センター 教授 高村 ゆかり氏を講師にお招きしました。感染症と気候変動・環境問題が連動しているという問題点や、生物多様性評価報告書、より公正・グリーン・デジタル化した欧州を構築するためのEU復興計画等、幅広い視点から講演いただきました。鈴木 美佳子氏（株式会社リコー 執行役員 サステナビリティ推進本部 本部長）からは、事業を通じた社会課題解決や経営基盤の強化にかかるマテリアリティについて、SDGsに紐づけられて経営陣主体で取り組まれている事例などをご紹介いただきました。佐藤 郁氏（戸田建設株式会社 戦略事業推進室 浮体式洋上風力発電事業部 事業部長）からは、脱炭素ビジネス戦略としてご自身が開発された浮体式洋上風力発電施設「はえんかぜ」についてご紹介いただき、琵琶湖に設置した場合の経済効果シミュレーションをご説明いただきました。



講師の方々と  
 コーディネーター：  
 高橋卓也SGN副会長

## vol.2

## ポスト・コロナ時代を見据えて、 脱炭素社会と「これからの食」を考える

企画：食のグリーン購入研究会

●2020年11月14日(木) 開催 ●参加者：56名以上

青田 朋恵氏（滋賀県 農政水産部 農政課 課長）からは、琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業について、湖魚の生態や環境こだわり農業の事例も踏まえてご紹介いただきました。目片 良和氏（オムロン株式会社 草津事業所長）からは、京都府宮津市で事業化されている耕作放棄地を活用した太陽光発電事業の事例紹介や、草津事業所における湖南農業高校とのフードリサイクルの取組等をお話いただきました。池田 典子氏（株式会社叶 匠寿庵 秘書広報室課長）からは、会社全体で取り組まれている里山保全や、地域社会との共生共存を図られている事例等をお話いただきました。



トークセッションの様子

## vol.3

## プラスチックと資源循環から、 びわ湖と私たちの暮らしを考える

企画：ゼロエミッション研究会 共催：マザーレイクフォーラム

●2020年12月16日(水) 開催 ●参加者：65名以上

中谷 隼氏（東京大学大学院 工学系研究科 講師）からは、ペットボトルと缶のリサイクル率や生成過程でのCO<sub>2</sub>排出量の比較、マイバックとレジ袋の環境負荷の比較、海洋プラスチック問題に対する焼却処分問題への提言など、脱プラスチックについて様々な視点から比較、評価、考察する必要性について講演いただきました。杉江 太一氏（滋賀県立大学廃棄物バスターズ 代表）からは、自身が取り組まれている琵琶湖の清掃活動についてご紹介いただき、その中で参加者にゴミの実態を知ってもらい、取組の大切さを多くの人に認知してもらうことがゴミの削減につながると報告いただきました。佐藤 祐一氏（琵琶湖環境科学研究センター 専門研究員）からは琵琶湖の透明度は上がっているが漁獲量は落ちていること、全層循環の問題など琵琶湖の環境をご説明いただき、プラスチックゴミがなぜ問題になるかを分かりやすく図解していただきました。セミナーの最後に、参加者全員が「びわ湖との約束」を紙に掲げ、画面上でそれぞれの思いを共有しました。



「びわ湖との約束」を参加者全員で

vol.4

## つながる・語り合う ～コロナ時代のSDGs 生物多様性保全の展開～

企画：生物多様性と環境・CSR研究会

●2021年2月5日(金) 開催 ●参加者：71名以上



参加者の様子

第4回はコロナ禍で直面した影響や課題、コロナ禍で考えるSDGs、コロナ禍の今だからこそやるべき事などについて、生物多様性保全の視点をふまえた取組について6者からご紹介いただきました（株式会社ダイフク サステナビリティ推進部 環境品質グループ 三好 順子氏・生活協同組合コープしが 執行役員 組織部統括マネージャー 森井 徹氏・クミノ工房 代表 井上 慎也氏・アインズ株式会社 コンテンツビジネス課 課長 岩田 英司氏・株式会社地域環境計画 大阪支社 生物多様性推進室 根岸 理佳子氏・株式会社 滋賀銀行 サステナブル戦略室 室長 嶋崎 良伸氏）。後半は、グループに分かれてグループディスカッションを行いました。

vol.5

## 環境先進国ドイツの叡智を滋賀へ！『ポストコロナ時代に向けて 持続可能な交通とまちづくりを考える～事業者、行政、市民が今やるべきこと～』

企画：エコ交通研究会

●2021年3月16日(火) 開催 ●参加者：72名以上

前半は村上 敦氏（環境まちづくりジャーナリスト）に「ショートウェイシティ」（移動距離の短いまち）について、まちづくりの視点からお話いただきました。ドイツフライブルク市と青森市の居住環境を比較し、日本において今後発生してく過疎化や空き家問題に対応し持続可能なまちづくりのために、賃貸や集合住宅をメインとした住宅施策や道路管理を含めたインフラ整備を行っているフライブルク市の例がアイデアになるのではないかとお話をいただきました。

三日月 大造氏（滋賀県知事）には、県民の移動を確保するために持続可能な仕組みの交通網構築が必要であり、行政・地域・利用者の意識・行動の変化が必要であるとお話をいただきました。また、県内ですでに実施されている近江鉄道沿線の活性化や竜王MaaSプロジェクトなどもご紹介いただきました。



村上氏、三日月知事による  
未来づくりディスカッション  
(コーディネーター：  
高橋卓也SGN副会長)

### 県受託事業 「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度(GPプラン滋賀)」へのご登録はお済みですか？

滋賀県のグリーン入札制度で優先的取扱いの対象事業者となる「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度（略称：GPプラン滋賀）」はご登録いただいていますでしょうか？

滋賀県では、県内の事業者の環境保全活動の促進を図ることを目的に、環境負荷の低減に積極的に取り組む事業者「環境配慮事業者」および「GPプラン滋賀登録事業者」から優先的に物品等の調達を実施しています。

SGNの前身である滋賀GPNの提案する「グリーン購入アドバイザー制度」と滋賀県が検討を進める「グリーン入札」が協働して2006年に創設されました。主として県内中小企業者を対象とし、登録事業者に自ら定めた目標に基づいて事業所においてグリーン購入に取り組んでいただくとともに、SGNが実施する研修会等に参加いただいています。

またCO<sub>2</sub>ネットゼロに向けた取組も新たに始まる予定です。

自らのネットワークの拡大に、新たなCSR・CSV活動に、サプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>ネットゼロに向けて、社員の外部研修に、そして未来よきな企業を目指すためにぜひご登録ください。（登録無料）

※詳細は以下の滋賀県ホームページ及びGPプラン滋賀ホームページをご覧ください。

滋賀県⇒<https://www.pref.shiga.lg.jp/zigyousya/nyusatsubaikyaku/nyusatsu/300818.html>

GPプラン滋賀⇒<https://www.shigagpn.gr.jp/gpp>

GPプラン滋賀登録者リスト⇒<https://www.shigagpn.gr.jp/gpp/gplist>



講義の様子(会場)



講義の様子(オンライン)

滋賀県  
グリーン入札制度GPプラン  
滋賀GPプラン滋賀  
登録者リスト

# 活動レポート

## 「未来をつくる消費者講座(全7回)」

期間：2020年7月～10月

滋賀県との協働で、グリーン購入やエシカル消費を進める消費者のリーダーを育成しようと、1回4時間、全7回の連続講座を開催しました。「グリーン購入・エシカル消費とSDGs」「滋賀の暮らしと環境や地球温暖化」、未来よしライフスタイルのための解決方法をバックキャストで考えるワークショップや「エシカル商品の製造現場を知る」と題したオンライン見学会、エシカル商品の裏側を学ぶ等、盛りだくさんの内容を学んでいただきました。最終講義では、学んだことからグリーン購入やエシカル消費を広げるためのオリジナル・プログラムを考え、発表していただきました。オンライン講座のため幅広い方々にご参加いただいたのが印象的でした。受講生同士の繋がりから「もったいないフェス」が2030年までの10年計画でスタートし、その第1回目がファブリカ村（東近江市）で2021年3月27日～28日に開催されました。

2021年度は2019年度・2020年度の修了生とSGN事務局が意見を出し合い、滋賀県が作成した「エシカル冊子」に協力しました。



「エシカル小冊子」



未来をつくる消費者講座 第7回より

## 「グリーン購入+エシカルキャンペーン」

期間：10月～12月

エシカル消費を含めた持続可能な滋賀県発の新しい消費行動を日々の生活に定着させる目的でキャンペーンを実施しました。昨年に引き続き県内小売店、会員事業者、県内全市町の協力を得て、ポスター・チラシの表示、店内放送、広報誌、ホームページ等による啓発を行いました。

2020年度は3箇所、2021年度は4箇所のべ5日間の店頭啓発を行い、2020年度は15,322人、2021年度は昨年を上回る約16,000人の参加宣言が集まりました。



## 「グリーン購入+エシカルキャンペーン・イベント」

### 2020年度

- 10月 4日（「滋賀県消費生活フェスタ2020」 出展 彦根会場）
- 11月14日（「グリーン購入+エシカルキャンペーン」 店頭啓発 大津会場  
11月9日～16日パネル展示）
- 12月 5日（「草津市地球冷やしたい推進フェア」 出展 草津会場）



10月4日



11月14日



12月5日



### 2021年度

- 10月17日（「エンカツ（縁活）in KUSATSU with SDGs」 出展 草津会場）
- 10月31日（「グリーン購入+エシカルキャンペーン」 店頭啓発 近江八幡会場）
- 11月13日（SDGs体験チャリティーイベント「秋ほくほく」協賛・出展 大津会場）
- 12月18日・19日（「草津市地球冷やしたい推進フェア」 出展 草津会場）



10月17日



10月31日



11月13日



12月18日・19日



## 活動レポート 2

### 「自治体のグリーン購入担当者連絡会議」

自治体幹事の運営により、県内全自治体の環境担当者、調達担当者に案内して開催しました。環境省 大臣官房環境経済課課長補佐 眞鍋 秀聡氏を講師に迎え、グリーン購入法の改正点を中心に講義いただいた後、検討中に自治体向け『グリーン購入導入キット（仮称）』をご披露いただき、参加者でそれについて感想や意見を出し合いました。（参加者：25人）

開催日：2020年7月3日



### 「エコ交通研究会親睦企画

#### 近江鉄道サイクルトレインお出かけ企画」

公共交通機関（JR&近江鉄道 ※近江鉄道「サイクルトレイン」）を利用し、レンタサイクルで健康増進を図り、あわせて地域の資源循環の取組を見学しました。

場所：彦根駅→ひこね芹川駅→愛知川駅→あいとうマーガレットステーション→あいとうエコプラザ菜の花館→愛知川駅→ひこね芹川駅→彦根駅  
（参加者：5名）

開催日：2020年10月18日



### 「自治体のグリーン購入担当者連絡会議」

環境省 大臣官房 環境経済課 課長補佐 田中 裕涼氏にはオンラインにて、グリーン購入法の概要や特定調達品目の変更点についてご講義いただきました。後半の連絡会議では、CO<sub>2</sub>削減の取組状況について、県や各市町から報告や質問などがなされ、活発な意見・情報交換がなされました。田中氏からは自治体のCO<sub>2</sub>削減を踏まえた調達方針の作成にあたって導入キットを紹介いただきました。（参加者：23名）

開催日：2021年7月16日



### 「マイクロプラスチック・ストーリー」

#### 映画上映会

ゼロエミッション研究会 共催

開催日：2021年10月30日

SGN会員であるしがローカルSDGs研究会（SL2）とSGNゼロエミッション研究会と共催で映画「マイクロプラスチック・ストーリー～ぼくらが作る2050年～」Vimeoリンクによる視聴をし、上映終了後オンラインにてディスカッションを行いました。SGNゼロセミ研からは滋賀県立大学廃棄物バスターズ 代表 岩井氏がパネリストとして参加されました。（参加者：150名以上）



### 「会員講師派遣事業」

期間：2020年2月～2022年1月

2020年度は以下6名の方に1大学へご出講いただきました。

- ・滋賀県立大学「環境経済学入門」  
（株）平和堂 鷓鴣 真知子氏  
たねやグループ 木田 幸司氏
- ・滋賀県立大学「環境経営学」  
（株）日立建機ティエラ 牛谷 健司氏  
（株）ダイフク 三好 順子氏  
近江園田ふぁーむ 園田 耕一氏  
ベストハウスネクスト（株）吉本 智氏

2021年度は以下6名の方に2大学へご出講いただきました。

- ・滋賀県立大学「環境経営学」  
アインズ（株）西川 豊之氏  
油藤商事（株）青山 裕史氏  
（株）滋賀原木 木村 和彦氏  
（株）明豊建設 白石 昌之氏
- ・京都産業大学「ソーシャル・ガバナンス論」  
三菱ケミカル（株）滋賀研究所 政野 広治氏  
（一社）ワンダフルライフ 野矢 貴之氏



滋賀県立大学での講義の様子

全て出講日程順に掲載。講師をお勧めいただいた皆様、ご協力ありがとうございました。

# Relay Talk

SGN会員でつなぐ

## リレートーク>>>

リコージャパン株式会社 滋賀支社  
事業管理グループリーダー 廣岡 茂樹



リコージャパンは、リコー製品を中心とした商品・サービスの提供をはじめ、様々なソリューションをワンストップで提供しています。全国に広がる販売・サービス体制を活かし、地域密着で、様々な業種のお客様の企業価値向上を支援しています。

環境問題への取り組みについてリコーは1990年代から製品ライフサイクル全体（資源採取～原料生産～製品生産～販売サポート～利用～廃棄・リサイクル）で脱炭素社会の実現を目指した事業活動を行ってきました。この「販売サポート」を担う当社は、お客様とともにご利用時における脱炭素化に取り組んでいます。主力製品である複合機において、より高度な省エネ技術を搭載したモデルを採用いただくことで、全国の全稼働機の使用時の消費電力総量を2015年比▲27%（2020年実績）削減しています。さらに、2020年度からお客様に採用いただいた複合機台数に応じてマングロブ植林を行うことで、CO<sub>2</sub>削減に寄与する活動を行っています。



脱炭素社会の実現に向けては、2022年目標GHGスコープ1,2削減率30%（2015年度比）という目標設定を行い、自社排出のGHG（温室効果ガス）の大幅削減に取り組むとともに、社会全体の脱炭素に貢献する商品・ソリューションの提供による脱炭素社会の実現を目指しています。具体的には、社有車のガソリン使用量の削減や電力使用量の削減も行っており、電力使用量の削減の1つとして、自社事業拠点におけるZEB導入を進めています。ZEBとは「ゼロ・エネルギー・ビル」の略で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。2021年現在、全国6つの事業所で太陽光パネルを設置し創った電力で事業所内の電力を賄う取組を始めています。

生物多様性保全活動では、社員やその家族だけでなく、地域住民やお客様などのステークホルダー協働の活動を実施しています。滋賀支社でも2005年より金勝生産森林組合様のご協力を得ながら金勝山森林保全活動を行っています。

リコーグループは、環境保全活動と経営活動を同軸と捉え、自ら責任を持ち、全グループをあげて地球環境負荷の削減と再生能力の向上に取り組んで参ります。

今回は、金勝生産森林組合さんをお願いします。



### リコージャパン株式会社 滋賀支社

滋賀県草津市野村 8-1-5

TEL : 050-3534-6148 FAX : 077-567-0670

URL : <https://www.rioh.co.jp>

## 新規会員から ひとこと

2021年5月11日から2022年2月28日までの入会者  
(団体名の50音順)



### 株式会社 Air Business Club

代表取締役 大堀 富生

環境に配慮した物流システムの研究開発を行っています。日本で初めてトラックの荷台を区切って管理することでトラックの輸送効率を向上させ温室効果ガス排出量削減に貢献します。



### 有限会社北川自動車工業

代表取締役 北川 義和

当社は長浜市で創業55年自動車の販売整備を地元で営んでいます。リサイクルパーツを利用しながらお財布にも優しく環境にも優しいことを提案しこれからも取り組んで参ります。



### 特定非営利活動法人 滋賀環境カウンセラー協会

理事長 竹内 辰郎

当協会は滋賀県に在住又は勤務している主として環境カウンセラー（環境省認定）から構成されており、平成18年にNPO法人に登録した環境団体です。【HP】<http://shigaeca.com/>

現会員数：471 団体 [企業 385、団体 21、行政 65] (2022年3月1日現在)

## 潮流

## 目指す社会は「環境・経済・社会の三方よし」

## 「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」

令和4年(2022年)4月1日より施行

「プラ新法」「プラスチック資源循環法」とも呼ばれるこの法律の背景には、海洋プラスチック問題・温暖化問題など環境問題の深刻化、諸外国による廃棄物輸入規制強化に伴うプラスチック資源循環の必要性の高まりがあります。プラスチックについて「捨てる量を減らそう」から「捨てることを前提としない経済活動をしよう」としているのが特徴であり、プラスチック製品を製造する際に排出されるCO<sub>2</sub>を削減させるのも狙いです。目指す社会は「環境・経済・社会の三方よし」が合言葉です。

■対象：プラスチックのライフサイクル全体において関わりのある、全ての事業者、自治体、消費者

■具体的な5つの措置

1. プラスチック使用製品設計指針と認定制度
2. 特定プラスチック使用製品の使用の合理化
3. 製造・販売事業者等による自主回収・再資源化
4. 排出事業者※による排出の抑制・再資源化等
5. 市区町村によるプラスチック使用製品廃棄物の分別収集・再商品化  
※排出事業者とは事務所、工場、店舗等で事業を行う、多くの事業者



〈特定プラスチック使用製品一覧〉フォーク、スプーン、テーブルナイフ、マドラー、ストロー、ヘアブラシ、くし、カミソリ、シャワー用キャップ、歯ブラシ、ハンガー、衣類用カバー

特に年間5トン以上使用する事業者を「特定プラスチック使用製品多量提供事業者」と称し、有料化や再利用化の対応が義務化されます。削減に向けた取組が不十分なら社名を公表し、命令に従わなければ罰金を科せられることもあります。

※詳細は右記「プラスチック資源循環」特設サイトをご覧ください。<https://plastic-circulation.env.go.jp/>

「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会」の実現に向けて、条例が生まれ変わります

令和4年(2022年)4月1日より施行

令和4年(2022年)4月1日に「滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」が施行されます。

滋賀県では、これまで「低炭素社会づくりの推進に関する条例」の下で温暖化対策の取組を進めてきました。気候変動に対する世界的な危機感の高まりを背景に、滋賀県としても2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロ=CO<sub>2</sub>ネットゼロを目指すことを宣言し、この実現に向けて条例の全面的な見直し作業を進めてきました。

新しい条例では、2050年CO<sub>2</sub>ネットゼロを目標に掲げ、目標達成に向けた取組を通じて持続可能な滋賀の実現をも目指す「CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくり」を県民総ぐるみで推進することとしています。

～見直しのポイント～

①再生可能エネルギーの導入に関する内容を新たに盛り込みます

CO<sub>2</sub>ネットゼロの実現のためには、エネルギー転換を進めることが重要です。再エネの積極的な利用やその地産地消、再エネ設備設置時の環境保全などの内容を追加しています。

②気候変動適応に関する内容を新たに盛り込みます

2050年に向けて取組を進める間も、気候変動の影響は避けられないと言われていきます。気候変動適応策の推進のための内容を追加しています。

③しがCO<sub>2</sub>ネットゼロムーブメントの下、社会全体で取り組んでいく内容を拡充します

より温室効果ガス排出量の少ないモノやサービスの普及、温室効果ガス排出量情報の提供とそれを意識した消費行動など、CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会の実現に向けて、私たち一人ひとりが心がけ、実践すべき内容を盛り込んでいます。

※詳細は以下の滋賀県ホームページをご覧ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/ondanka/304120.html>



滋賀県



# 会員発エコ商品情報

次号掲載  
「エコ商品情報」  
募集中!

～環境にやさしい紙製A4クリアファイル!～

## 紙ワザファイル

宮川印刷株式会社

前面は「ワックスプラス加工」で半透明になっていて、内容物が見えるので使い勝手も◎。  
資源ごみとしてリサイクル可能で、プラスチックごみ削減やSDGsの取組にも貢献できます。

- オンデマンド印刷
- 仕様：サイズ/220×310mm
- 紙厚：上質紙104.7g/m<sup>2</sup>
- クリア加工/ワックスプラス加工
- 片面（裏面）印刷推奨
- 金インク印刷対応
- 白以外のカラーもごさいます
- 1部からでも印刷可能です



〈お問合せ〉宮川印刷株式会社

滋賀県大津市富士見台3番18号  
TEL：077-533-1241 FAX：077-534-0846  
Email：takada@miyagawainsatsu.co.jp  
担当/高田隆司  
URL：https://www.miyagawainsatsu.co.jp/

～これを持って山へ行こう!～

## ニブンノイチ野帳

株式会社コクヨ工業滋賀

滋賀の2分の1が森林だなんて驚き!改めて自然あふれる環境に感動し、商品名にしました。表紙が硬くコンパクトなので携帯性に優れ、フィールドワークにも便利な野帳です。見返しにはヨシ紙を採用し、滋賀県の森林の豆知識や、森林や水を感じる滋賀のみどころMAPなど、山の情報が満載です!この野帳を持ち出して、全スポットを巡ってみませんか?



琵琶湖・淀川水系のヨシを活用したエコ文具シリーズ ReEDEN (リエデン) の新商品で、好評発売中の琵琶湖に焦点をあてた「ロクブンノイチ野帳」の姉妹商品です。合わせてお使いいただくと、滋賀の豊かな自然を感じます。

〈お問合せ〉株式会社コクヨ工業滋賀

滋賀県愛知郡愛荘町上蚊野312  
TEL：0749-37-3611 (代表)  
E-mail：sales\_kps@kokuyo.com  
URL：https://www.tonahiki.com

## 随時募集中 講師派遣 オンラインも対応します!



SGNでは会員講師派遣事業を行っています。GPプラン滋賀の研修会や大学はもちろん、各企業や行政、地域団体等からの依頼等により多数の講師派遣をしております。大人向けのみならず子供向けの出前講座についても多数の実績があります。

「グリーン購入」の専門機関として理解を深めていただくために、人形劇や寸劇、クイズ等を通して楽しく学ぶ子ども向け・親子向けのプログラムから、企業・団体や自治体が組織購入者として具体的な実践ノウハウを身につけていただくための講座まで幅広いプログラムを有しています。消費行動を通して、SDGsに取り組む方法やエシカル消費について遊びながら学ぶプログラムもごさいます。現地対応だけでなくオンラインセミナーにも対応。費用は応相談、まずは事務局までお気軽にご連絡ください。

## CO<sub>2</sub> ネットゼロ、 何から始めたら…という 事業者の方はご相談ください!



世界的な脱炭素の流れが加速しています。グローバル企業のみならず、日本でもサプライチェーン全体で目標を達成しようという企業が続々と続いています。

滋賀県は2050年CO<sub>2</sub> ネットゼロ社会を目指していますが、実現のためにはあらゆる連携が必要です。

「CO<sub>2</sub> ネットゼロについて、何から始めて良いかわからない。」「他社はどうしているのだろう。」とお困りの事業者の方はSGNまでお気軽にご相談ください。

CO<sub>2</sub> ネットゼロ!  
SGNがお手伝い  
するよ!



SGNキャラクター  
エコペン



編集・発行 / 一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階

TEL:077-510-3585 FAX:077-510-3586

Eメール:sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL:https://www.shigagpn.gr.jp/

